

2011年度 修学院フォーラム

「人と教育」

第2回

主催 (財)日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

いのちをつなぐ教育が求められています。教育の課題を共有しつつ、対話を通して、共に考え、共に希望を見出したいと思います。

仲間とつながりあって、ハッピーに生きようぜ！

講師：金森 俊朗（北陸学院大学人間総合学部教授）

勉強・習い事・スポーツなどの成績向上への期待・要求に応えられない悩み、友人関係・家族問題・貧困・病気などに希望を見いだせない悲しみなどの生きづらさに苦悩する子どもたち。彼等がそれらを表出し、仲間が共感的に受け止め、共に生きようと歩み出す希望のドラマ。そのことを可能にしたものとは何か？自然・人・もの・ことに豊かにかかわって、きらめきの少年期を充実させながら、人間の存在・いのちの尊厳を学んでいった子ども・保護者たちの歩みから、今、私たちができることや学校・家庭が持つ可能性を皆さんと共に考え合いたいと思っています。

（金森 俊朗）

日時：2011年 9月 17日(土) 13:30～17:30

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

参加費：2,000円、学生 500円 会場への地図は裏面をご覧ください。

9月14日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。
ただし、定員に達し次第締め切ります。



金森 俊朗 KANAMORI Toshiro

1946年、石川県能登生まれ。金沢大学教育学部卒業後、教職につき、石川県内の八つの小学校で教鞭をとる。1980年代より「仲間とつながりハッピーになる」という教育思想をかかげ、人と自然に直に触れ合うさまざまな実践を試みる。1989年、妊娠七カ月のお母さんを招いた「性の授業」を皮切りに、本格的に「いのちの教育」を開始する。翌年、末期ガン患者さんと共に、日本で初めて小学校教育での、「デス・エデュケーション」を実施。金森学級の一年を追ったNHKスペシャル「涙と笑いのハッピークラス 四年一組命の授業」が、2003年第三十回日本賞グランプリを受賞。その教育思想と実践は、教育界のみならず、医療・福祉関係者からも大きな注目を集め、「情操教育の最高峰」と高い評価を受けている。

評価を受けている。

2007年3月に退職後、2008年4月より北陸学院大学人間総合学部幼児児童教育学科教授、同大学地域教育開発センター長、上越教育大学・金沢大学非常勤講師。

2010年第19回ペスタロッシー教育賞受賞。

(裏面に著書紹介)

〈著書〉

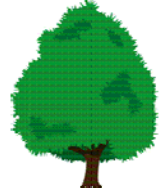
『いのちの教科書 生きる希望を育てる』(角川文庫)、『希望の教室・・・金森学級からのメッセージ』(角川書店)、『子どもの力は学び合ってこそ育つ - 金森学級38年の教え』(角川書店)、『金森俊朗の子どもの・授業・教師・教育論』(子どもの未来社)、『子どもたちは作家になる』(角川書店)、『「子どものために」は正しいのか』(学研新書)、その他。

2011年度 修学院フォーラム「人と教育」これからのご案内

第 3 回 11月12日(土)

「教育と社会」(仮)

講師：野田 正彰(関西学院大学教授)



2011年度 修学院フォーラムその他のこれからのご案内

福祉とこころ

第1回 11月26日(土)「個を見つめて」講師：高木 恵子(洛西愛育園園長)

第2回 2012年2月18日(土)「聖書に尋ねる福祉の思想」(仮)
講師：岡山 孝太郎(日本キリスト教社会福祉学会副会長)

いのちを考える

第2回 7月9日(土)「71年間ハンセン病療養所に生きて」
講師：上野 正子(国立療養所星塚敬愛園入所者)

第3回 11月5日(土)「誕生・生・死について考えるーキリスト教倫理と一般倫理のはざままで」(仮)
講師：関根 清三(東京大学人文社会系研究科教授)

第4回 12月17日(土)「いのちからの問い、いのちへの問いー生命倫理を超えて」(仮)
講師：安藤 泰至(鳥取大学医学部准教授)

(財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

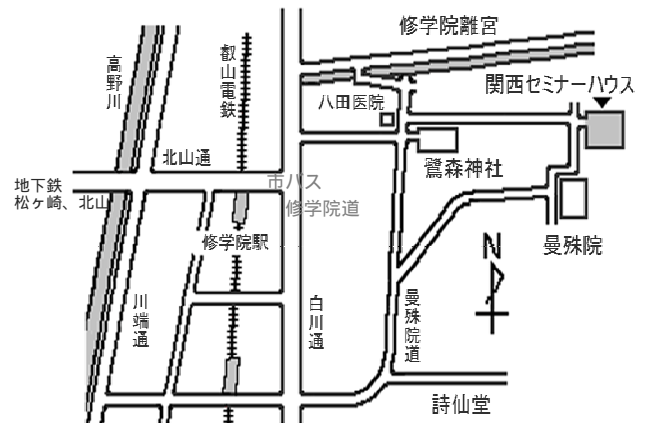
電話 075-711-2115

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

運営委員長 小久保 正

プログラム係 都木 かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2011年度 修学院フォーラム「人と教育」第 2 回 参加申込書

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 () - ()	FAX () - 携帯 ()
電子メール :	@
通信欄	